

社会福祉法人 秋桜会
理事長 加賀 武夫 様

報告者 湊高台保育園
園長 加賀 英雄

園評価報告

令和 4 年度 園評価について、ご報告致します。

1 園の保育目標

「こころも からだも つよいこ」

- 愛着関係の確立
- 歩行等探索活動の保障
- 安心安全の保障

2 令和 4 年度の重点目標

- 乳児 ・ 生理的欲求が満たされ、安心した生活リズムで過ごす。
- 1 歳児 ・ 自分の思いをしぐさや言葉で表現する。
・ 行動範囲を広げ探索活動を盛んにする。

3 令和 4 年度の計画

- 絵本の読み聞かせ（月刊絵本プレゼント）
- 運動あそびなどを通しての発達の支援（サンサン Room）
- 描画あそび・課題あそび（わくわく Room）
- 食育の推進
 - ・ 一人ひとりの発達に合わせて離乳食を進め、食べる意欲を育てる。
 - ・ 食事のリズムを整える。
 - ・ 炊き立て米飯の提供
 - ・ 食育活動・行事食の提供・献立の展示（レシピ配布）
 - ・ 野菜栽培から収穫までを見たり触れたりする体験。
 - ・ 食育だより発行。
 - ・ 保護者への離乳食づくりの助言（レシピ）
 - ・ アレルギー除去食提供
- 子育ての支援
 - ・ 保護者の育児に関する相談（子育てサロン）
 - ・ 担任との個人面談
 - ・ 外部講師による親子あそびとトーク time （なかよしふれあい day）

- ・ 子育て情報の提供（電子掲示板）
- ・ ホームページ開設（保護者のページ）
- ・ コスモスだよりの発行

4 自己評価について

保護者、職員にアンケートを実施し、どの程度達成されているかを点数化した。

アンケートは、各項目について

5：とてもそう思う、 4：おおむねそう思う、 3：少しそう思う、
2：あまりそう思わない、 1：まったくそう思わない、 0：よくわからない（無回答）
で回答してもらった。

集計後、5⇒5点・・・1⇒1点として点数化し、平均値を出した。

アンケートの方法：無記名（ただし、クラスは明記）

期間：令和5年2月16日～2月22日

対象者：保護者44名 回収率93.2%、職員24名 回収率100%（育休除く）

(1) 教育保育について

内容	取組状況	令和4年度	評価
① 園では、保育目標に沿い、発達に応じた保育がなされていますか。	保育者としての丁寧な関わりや、正しい言葉遣いの語りかけで子どもたちの良い手本になるように努めた。	保護者 4.6 職員 4.3	温かい視線と言葉がけを大切にしたことにより、子どもたちの語彙が豊富になり、子ども同士での会話も成り立つなど、コミュニケーションの基盤ができたと感じた。
② 園では子どもたちが楽しく様々な経験が出来るような環境が整えられていますか。	2人の外部講師を招き、サンサンRoomでは、運動あそびや感覚あそびで脳を活性化する体験、わくわくRoomでは、様々な画材を使って、指先を十分に動かしながら描画あそびを楽しむ体験をした。 また、0～1歳児主体の「ふれあい運動会」を開催することができた。	保護者 4.6 職員 4.5	専門的な知識やプログラムにより子どもたちの興味や関心をうまく引き出しながら、気持ちを集中して楽しく取り組むことができた。 「ふれあい運動会」では、講師の先生と共に、親子ピクスやママのためのエクササイズなど豊富なプログラム内容となった。
③ 園では子どもたちが全身を十分に動かし、自然に触れながら楽しく遊んでいますか。	園庭に設置した低年齢用の固定遊具でのびのびと遊び、移動式砂場に抗菌砂を入れて砂あそびを楽しんだりした。また、散歩車に乗り散歩に出かけるなど、外遊びをこれまで以上	保護者 4.6 職員 3.9	遊具で遊ぶ子どもたちから「たのしい！」という感情のことばや砂あそびをしながら「さらさら～！」「ギュッギュッ」など遊びの中から自然に出てきたことばオノマトペ（擬音

	に増やし、体を十分に動かして遊ぶことを4年度の大きな目標にして進めた。		語・擬態語)がたくさん聞かれた。また、散歩に出かけ、季節を感じ実際に自然物に触れたり見たりする体験ができた。
④ お子さんの気持ちや様子・子育てについて職員と話したり相談ができますか。	送迎時や連絡ノート、個人面談(子育てサロン)などで保護者の悩みや相談と一緒に考え、一緒に子育てをしている気持ちで対応したり、安心して何でも話せる雰囲気づくりや環境整備に気を配った。	保護者 4.4 職員 4.2	保護者との話の内容は、園長に報告し、寄り添う気持ちを持ちながら職員全員で検討しながら、共通理解をもって対応した。

(2) 健康保健安全について

内容	取組状況	令和4年度	評価
⑤ 食事への配慮や給食・おやつのお献立は充実していると思いますか。	毎月の給食会議では、献立の味付けや量などについての話し合いや情報交換を行った。玄関に行事食などの献立を展示するとともに、人気のメニューをQRコードで保護者に配信した。	保護者 4.6 職員 4.5	離乳食は、家庭で食べたことがある食材かどうかを事前にチェックするなど、一人ひとり丁寧に進めている。レシピが欲しいという保護者もいて、関心度は高かったと感じる。
⑥ 健康管理、感染症などに対する情報、急な体調の変化に対し適切な対応がされていますか。	1日数回(5回程度)の検温を行った。発熱に気づいた際は緊急連絡先の順に従って、速やかに連絡をし、園児の体調やその対応について十分に説明した上で保護者(など)に引き渡しを行った。	保護者 4.6 職員 4.7	おがスマ配信(一斉配信)により新型コロナの状況や感染対策の為の協力内容なども速やかに配信できるようになった。欠席や遅刻の連絡も保護者から園へ配信できる為、電話での対応が減った。
⑦ 園の施設、環境は適切に整えられ、衛生面に配慮していますか。	保育園で行っている感染症対策の内容を一覧にし玄関に展示したり、保育室や遊具の消毒の様子を電子掲示板で配信するなど、衛生面での情報を積極的に配信した。	保護者 4.7 職員 4.6	新型コロナ感染対策では0~1歳児はマスクの着用が困難であり、まだ免疫力も低い為、健康状況によっては保護者に協力を得ることも多かった。
⑧ 不審者などへの保育園の安全管理について十分だと思えますか。	園児が全員登園した後に門扉と玄関の施錠を行っている。不審者対策訓練は年2回行い、防犯カメラに映る不審者役の姿を追いながら、保育室にいる園児の誘導避難を行い、それぞれの役割に沿って不審者から子どもの命を守る訓練を行った。	保護者 4.3 職員 4.0	令和5年3月から、セキュリティ対策として玄関ドアの施錠を自動ロックにし、外部からの侵入防止をさらに強化した。

(3) 園全体の運営について

内容	取組状況	令和4年度	評価
⑨ 園からのプレゼントの絵本は親子の触れ合いのきっかけになっていますか？	愛着形成を促し親子で絵本を楽しみながら応答的なかわりを増やすことで聞く力や話す力を育てることを期待し、令和元年度から絵本のプレゼントを続けている。	保護者 4.6 職員 4.0	月刊絵本の他にも子どもたちの好きな絵本をたくさん紹介し、保護者自身が絵本を読んであげたい気持ちになるように工夫し、情報提供に力を入れている。
⑩ 登降園時に、職員からお子さんの様子や健康状態などについての声かけがありますか。	新型コロナウイルス対策により、健康状態にはいつも以上に気を配り、保護者にも協力をお願いをした。	保護者 4.8 職員 4.5	日々の情報交換は大事にしている。子どもたちの健康の情報は保護者の安心や喜びにも繋がるという思いで保育士同士でも共有しながら保育につなげている。
⑪ 園からの手紙（お知らせ、園だより、クラスだより、電子掲示板、ホームページ等）は適切にわかりやすく情報発信を行っていますか。	玄関に電子掲示板を設けた。保育の様子や行事の様子を写真や動画で配信し、登降園時に見るようになるようにした。また、ホームページも新しく改設し、在園している保護者だけが見られる「保護者のページ」を設け、園で過ごしている子どもの様子をスマホでも見られるようにした。	保護者 4.6 職員 4.5	電子掲示板は、園での子どもの様子や活動の様子の見える化の他に、子育てサロンの講座のお知らせや、子育て情報の案内板としても利用している。 子どもたちの様子や情報が、分かりやすく目に入ってくるので保護者からの喜びの声が多かった。
⑫ 園は食育について積極的に取り組んでいますか。（給食の提供、食育だより、野菜の栽培と収穫、食育活動、献立の展示）	本物の食材を見る、触れる、嗅いでみるなどの目的のためにプランターで、きゅうり、トマト、ピーマン、なす、ブロッコリーなどの夏野菜を栽培し、子どもたちが野菜に実際に触れることができた。	保護者 4.7 職員 4.4	食育だよりは4回発行。食育活動の内容は、ふりかけ作り、さつまいもの茶巾しぼり、三色おにぎりを作り楽しんだ。給食を楽しく食べるという食育の推進は、高い評価だったと感じる。
⑬ 園の子育て支援は、子育てに役立っていると思いますか。（個人面談、子育てサロン開催、コスモスだより発行など）	支援室に子育てサロンをオープンした。少しでも子育てを楽しんでもらいたい、仕事も家事もイキイキしてリフレッシュしてほしいという思いから、当園の職員である育児アドバイザーが講師となり、子育ての相談や講座を通して保護者を応援した。	保護者 4.2 職員 4.5	子育てサロンに参加した保護者からの感想は、「楽しかった！」「ためになった」「わかりやすく説明をしてもらえた」など満足の声がかれ、仕事で参加できなかった保護者からは、進級し、こども園の保護者になっても参加できると嬉しいという記載があった。

4 評価結果

(1) 運営の成果について

令和4年4月より保育園としてスタートした。教育保育の内容はこれまでになかった新しい取り組みも行ったが、保護者アンケートの評価ではまずまずの評価であったと感じる。全職員で協力体制を築きながら、1年目のベースを作り上げることを目標に運営にあたった。

(職員)

- ・全職員で1年間の目標や保育内容・保育計画の共通理解をおこない、子どもの姿や方向性を話し合いながら、教育・保育を進めることができた。
- ・令和4年度の目標として外あそびや運動あそびに力を入れ、体を使って遊ぶことを毎日の大切な活動の一つとして位置づけることができた。
- ・新しい取り組み（サンサン Room、わくわく Room、子育てサロン、ふれあい運動会、ホームページの開設など）を通して、園で大事にしていきたいことを外部講師と一緒に伝え、実践することができた。
- ・保育の見える化を行うことで、子どもたちの様子や活動の様子が見えるようになり、保護者の安心と喜びの声に繋げることができた。

(保護者)

- ・子どもたちの発達に合わせた取り組みなどを、いろいろ取り入れてもらえて良かった。
- ・子育てサロンで相談した時、とてもわかりやすかった。
- ・ふれあい運動会の時、講師の先生のためのエクササイズの時間が嬉しくて素敵な企画だった。
- ・子どもたちをいつも気にかけてくれる先生方ばかりで安心して預けられる。
- ・丁寧な対応、指導に感謝している。
- ・他園より休園（新型コロナウイルス感染による）が多いと職場で言われた。
- ・教育も大事だと思うが、子どもらしく外でいっぱい遊ばせてほしい。
- ・戸外活動はいつもより多かったが、雪が降るようになってから全くなかったのが残念だった。
- ・イベント以外の写真も販売していただくと嬉しい。
- ・平日は仕事や家事・育児で忙しく土曜日の空いた時間に自分の通院などで預かり台帳に記入すると「お仕事ですか？」と聞かれるのが不愉快になるので、もう少し聞き方を工夫してほしい。
- ・子育てサロンの内容で、SNSなどに話題になっているものもあったので、地味でも安心して子育てできるものをお願いしたい。

(2) 次年度に向けての課題

- ・引き続き外遊びをたくさん取り入れ、日々の保育内容の充実と共に、外部講師による「サンサン Room」や「わくわく Room」を通して成長や発育に大事な支援や、運動あそび、感覚あそび、描画遊びをさらに高めていく。
- ・親子参加の「なかよしふれあい Day」の行事を通し、親子のふれあいやあそびやベビーマッサージ、産後の体のケアや子育てのヒントに繋げる講話など楽しく参加できる子育てのサポートを目指す。
- ・子育て支援専属のスタッフによる「子育てサロン」を通して、子育てに必要な知識や情報を学ぶだけでなく、ゆったりとくつろぎながら子育ての講座や母親のためのリフレッシュ講座、さらに地域の子育て世代の方や赤ちゃんが気兼ねなく集える場所として、その方々と交流を深めながら育児支援に取り組んでいく。
- ・職員研修については、Zoom 研修が主であったが、次年度は園内外の受講参加の機会を増やすよう努力し、職員全体の専門性の向上に努める。